

インドの一部地域において ニパウイルス感染症が発生しました

西ベンガル州において発生が報告されています。

ニパウイルス感染症とは

症状

潜伏期間は通常4日から14日程度で、発熱や筋肉痛などの症状が出始め、重症化すると意識障害などを伴い脳炎を発症することがあります。致死率は40%～75%と推定されています。

感染経路

- 感染動物(オオコウモリやブタなど)との接触
- 感染動物の唾液や尿などで汚染された食物(ナツメヤシの樹液のジュースや果実)の摂取
- 患者の血液や体液との接触



海外では、ほぼ毎年インドやバングラデシュ等で患者が報告されていますが、日本国内での発生は報告されていません。



検疫所からのお知らせ

- ✓ オオコウモリやブタとの直接の接触を避けましょう。
- ✓ 生のナツメヤシの樹液や動物が食べた可能性がある果物等の摂取は避けましょう。
感染動物の唾液などで汚染されている可能性があります！
- ✓ 帰国時に体調に異状がある方は検疫官にお申し出ください。

その他、海外での感染症流行状況についてはこちら

→ → →

海外で健康に過ごすために



厚生労働省
検 疫 所

FORTH



FORTH



厚生労働省検疫所